



教科名： 法定2年点検・車検 I

2025年度

実習

一級自動車工学科・自動車整備科

時期： 2年 後期

科目： 自動車整備作業

時限数： 32時限

<改訂履歴>

改訂年度	改訂事由	発行日/担当	
FY24	シラバスメンテナンス	5/21	合田
FY25			
FY26			
FY27			
FY28			
FY29			

教頭	課長	学年統括	教科担当	教科担当

一級自動車工学科・自動車整備科 2025年度

授業計画

時期	2年後期	単元	実習	教科名	法定2年点検・車検 I	
科目	自動車検査作業	教科書等 持参品	定期点検作業要領書 法令のテキスト		発行日	2024年5月21日
※ 注1 総時限	32時限		電卓	教科担	小山 純	※ 注2 ●
※ 注1 授業時間	51.2時間		自動車整備工具・機器		当	※ 注2 ■

一般科目と休講等予期せぬ事態に備えた余剰分を含め、合計時間は1944時間（50分ベース）を確保（法定合計時間1800時間（50分ベース））

1. 指導教員の実務経験 該当 非該当

自動車整備士として法務点検・車検の実務経験がある教員により、法定2年点検・1年点検の点検項目を明確化できるよう指導する。

2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）

1. 法定2年点検の点検項目を習熟。
2. 法定2年点検と法定1年点検の点検項目を明確にし、法令問題の底上げを行う。

3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）

1. 点検項目を見れば、該当する箇所が理解し点検出来る。
2. 法定1年点検項目と法定2年点検項目を理解し1人で点検出来る。

4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）

実習評価点は、技術評価点（70点）+レポート評価点（15点）+取組評価点（15点）以上（工学科は70点以上）を合格とする

技術評価点

- ・実技試験 60% ①2年点検実技試験
- ・筆記試験 40% ①点検項目を区別する問題

5. 準備学習

1. 二年次のA巡で行った法定1年点検を復習・定期点検作業要領書をあらかじめ読んでおくこと。
2. 授業終了後、教員から指示された教科書・資料の項目を復習しておくこと。

※注1 総時限の1時限は、80分/1時限を表し、授業時間の1時間は、50分/1時間を表す

※注2 ●⇒実務経験がある教員 ■⇒日産資格保持者

6. 指導目標

1. 法定2年点検項目の点検方法を習熟し、確実にスピーディーな作業が出来るようにさせる。
2. 自家用乗用車等の点検基準において、1年毎・2年毎の項目を区別出来るようにさせる。

一級自動車工学科・自動車整備科

2025年度

授業計画

時期	後期	単元	実習	教科名	法定2年点検・車検 I
7. 安全 (KYのため必ず授業内で説明)					
番号	作業名	遵守事項		災害事例	チェック
1	エンジン始動時	始動時必ず声掛けを行う。 AT車のためにPでの始動を行う。		指をベルトに巻き込んだりしないように全員で気をつける。	
2	リフト操作	上げ下げの声掛けを行う。			
3	灯火点検	AT車のためバックランプ点検後Pにもどす。			

8. 授業レイアウト (写真の貼り付けも可)

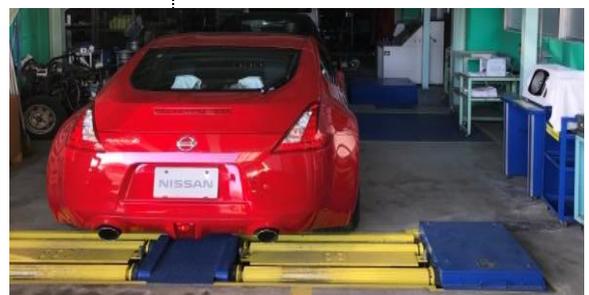
実習場

第1実習場



※車両はA A Oデイズを5台使用する。

検査ライン



実習車両1台当たり4～5名（5グループ）で実習を行う。